

「階上の味」で国スポ弁当

試食会、メニュー来月決定

階上

階上町は3月26日、10月に国民スポーツ大会で同町を訪れる選手らに向けた特製弁当の試食

島守敦料理長(手前)の説明を受けながら弁当を試食する出席者



会を行い、町の関係者が地元産の食材を使ったメニューを味わった。

国スポでは、開催期間中に用意する弁当のうち、選手や監督、

視察員、報道員の希望者には有料で弁当を提供している。同町は自転車ロードレース競技の会場となっており、競技当日は3

20食程度の需要を見込んでい



国スポで提供する弁当の試作版。階上町産の食材を多く使用している

る。単価は1食当たり1100円以内。

メニューは八戸学院大健康医療学部人間健康学科の佐藤千恵子教授が監修。「町の魚」アブラメや、沿岸部で採れるフノリ、同町のブランドとして生産されている「五感トマト」などを使い、はしかみハマの駅あるでい

くほの島守敦料理長が調理を担当した。

この日は同町の国スポ実行委の委員らが出席し、説明を受けながら弁当を堪能。各メニューの味や彩りについてアンケートを記入した。メニューは5月に決定する予定。

(井上園平)